

平成26年度「全国学力・学習状況調査」における 常盤小学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成26年4月22日（火）に6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力をいただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- （１） 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （２） 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。
- （３） 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒
- 常盤小学校では、6年生 209 名

3 調査内容

（１）教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 [国語 A・算数 A]	主として「活用」に関する問題 [国語 B・算数 B]
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等の実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

（２）児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

平成26年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

常盤小学校

児童数

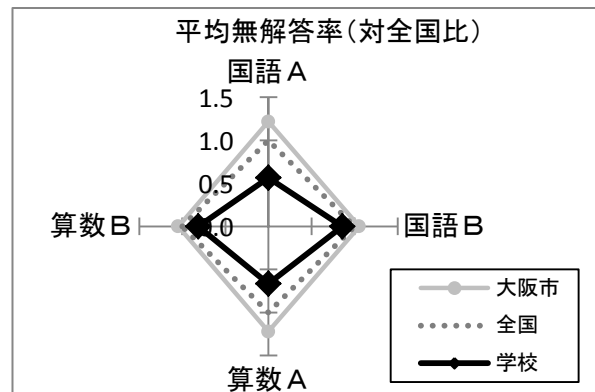
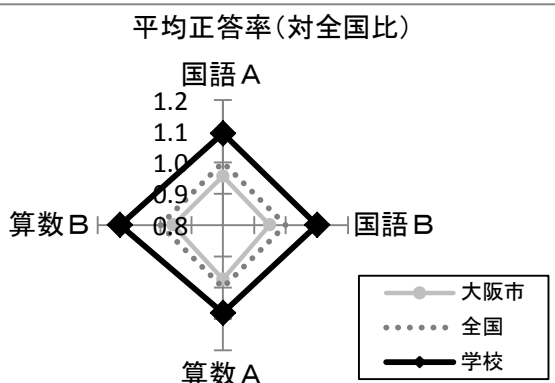
209

平均正答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	79.7	61.1	84.4	65.7
大阪市	69.7	52.7	76.0	55.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

平均無解答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	1.3	7.9	0.6	3.5
大阪市	2.8	9.7	1.1	4.5
全国	2.3	9.2	0.9	4.3



結果の概要

- 国語Aの平均正答率は79.7%で全国と比較しても6.8%高い。国語Bの平均正答率は61.1%で全国と比較しても5.6%高い。
- 算数Aの平均正答率は84.4%で全国と比較しても6.3%高い。算数Bの平均正答率は65.7%で全国と比較しても9.9%高い。
- 平均無回答率もすべてにおいて全国平均と比較しても低い。
- 国語、算数とも知識・活用において全国よりも高いことを示している。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

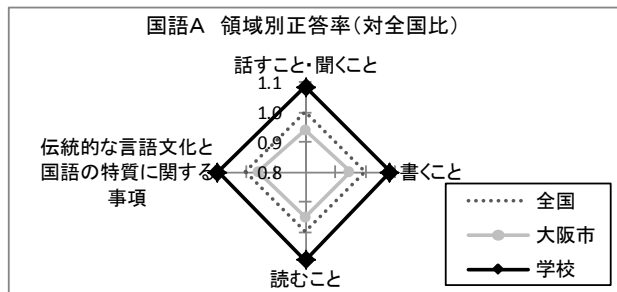
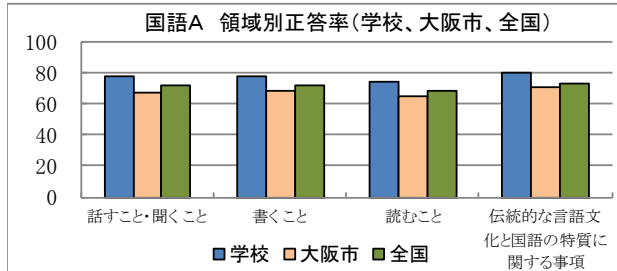
本校では学力向上に向け全教職員で取り組んでいる。個に応じた学習指導を進めるにあたって、国語科・算数科において習熟度別指導、少人数指導、チームティーチング等、多彩な学習形態を取り入れすべての児童に基礎・基本を定着させるべく取り組んでいる。また授業力の向上をめざし、全学年において国語科で「物語文」に焦点をあて、国語科の研究につとめ言語指導の充実や授業力向上をめざし、校内研修や研究授業に取り組んでいる。さらに読書活動においても毎週金曜日を全学年で読書タイムを位置づけたり、毎週火曜日・木曜日にボランティアさんによるお話の会を位置づけ多彩な読書活動に取り組んでいる。その結果、国語科・算数科において、全国平均を上回る好結果をえることができた。一方、国語科・算数科においてB問題「活用」においてA問題「知識」に比べて下回る結果となった。さらに、国語科・算数科とも記述式問題に課題が見られる。今後、理由や根拠をもとにした「書く」ことに取り組んでいく必要がある。

【国語】

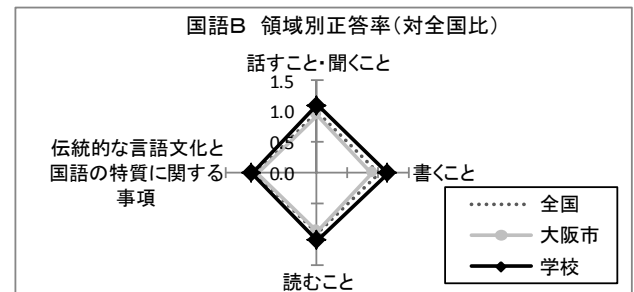
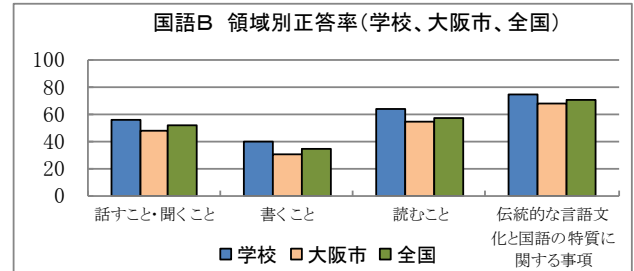
結果の概要

- ・国語科A・Bとも全国平均を上回る好結果となった。
- ・領域別にみるとB問題(活用)において「書くこと」に課題が見られる。
- ・「知識」と「活用」を比べると「活用」のほうが低い結果となった。

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	1	78.5	67.9	72.4
	書くこと	3	78.1	68.5	72.2
	読むこと	2	74.9	65.1	68.5
	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	12	80.6	70.6	73.7

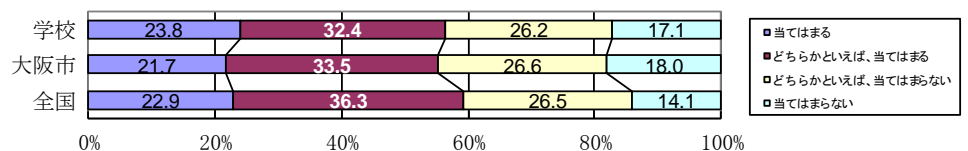


B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	56.0	48.3	51.2
	書くこと	3	39.7	30.9	34.4
	読むこと	7	63.4	54.6	57.3
	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	2	74.4	67.9	69.8

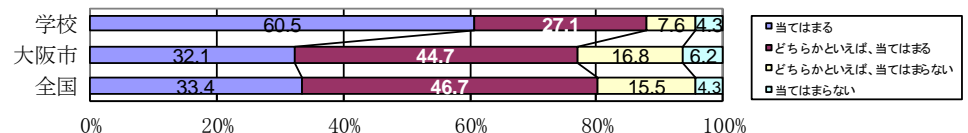


国語に関する「児童質問紙」

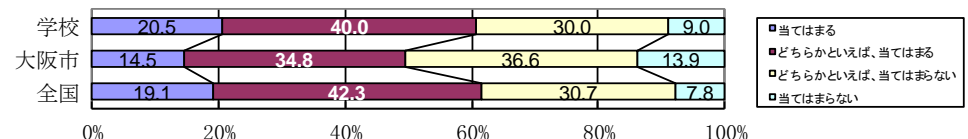
50
国語の勉強は好きですか



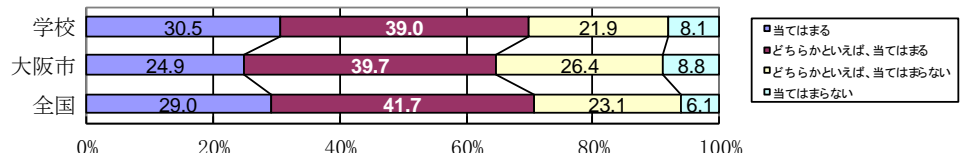
52
国語の授業の内容はよく分かりますか



55
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



57
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

国語の授業の内容をよく理解している(87.6%)が好結果となった。一方、立場を明確にして質問や意見を述べる、分かったことや疑問に思ったことを関係づけながら書くということが30%台で課題が見られる。

今後の取組

45分の授業の中で話し手の意図を捉えながら聞き、話し手の発言内容の中から理由や根拠などを短い言葉で要約して自分の考えを「書く」という機会を多くしていく。

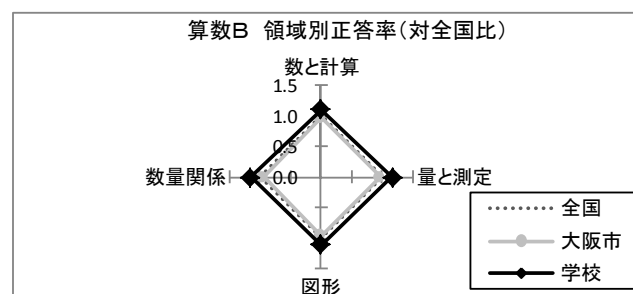
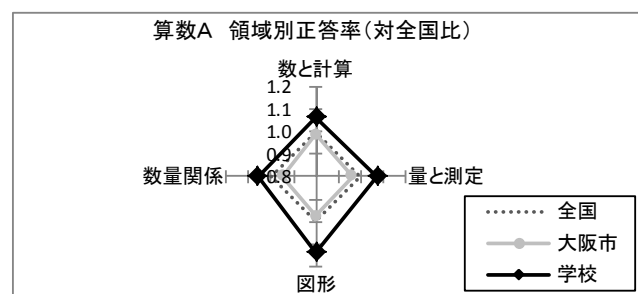
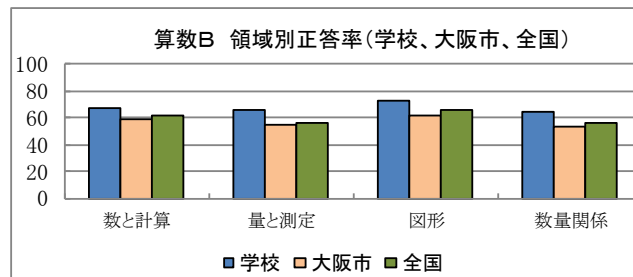
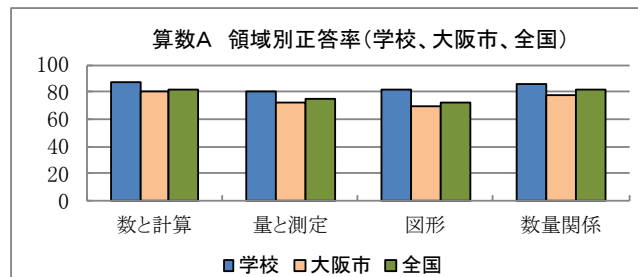
【算数】

結果の概要

- 算数A・Bとも全国を上回る好結果となった。
- A問題「知識」に比べてB問題「活用」が低い数値となっている。
- 記述式問題に課題が見られる。

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	8	87.1	80.8	81.8
	量と測定	3	80.1	71.8	74.8
	図形	4	81.7	70.0	71.8
	数量関係	3	86.0	77.2	81.3

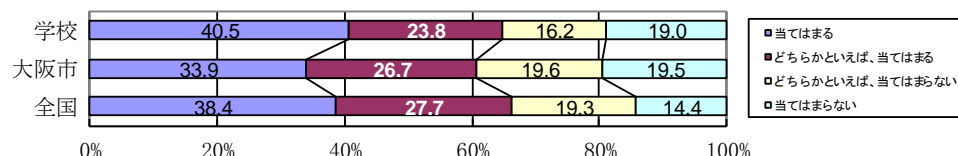
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	8	67.8	58.9	61.3
	量と測定	5	65.4	54.4	56.5
	図形	1	72.2	62.5	65.7
	数量関係	5	64.3	52.9	56.2



算数に関する「児童質問紙」

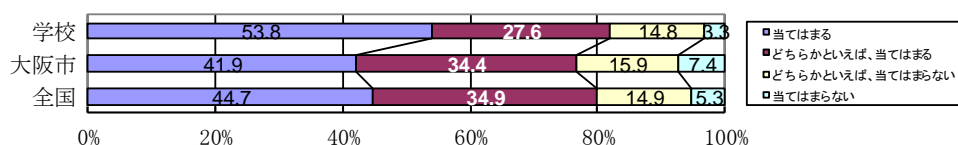
62

算数の勉強は好きですか



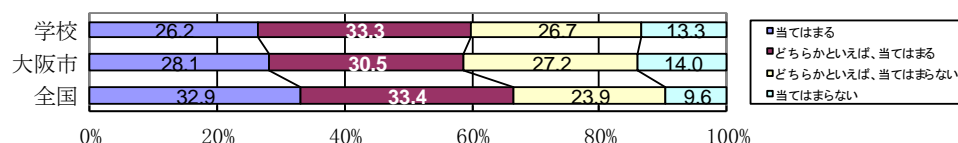
64

算数の授業の内容はよく分かりますか



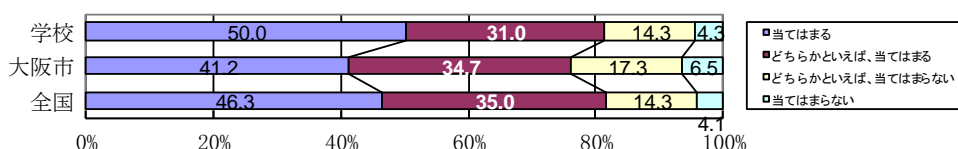
67

算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



70

算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようになっていますか



成果と課題

多彩な授業形態を実施してきた結果、算数の内容をよく理解しているが80%を超える好結果となっている。一方、理由を記述すること、筋道を立てて求め方を記述することが40%と低い数値を示している。

今後の取組

課題解決に向けいろいろな解き方やわけを説明することに課題が見られるため、自分の考えを互いに伝え合うなど、45分の授業の中で話す・書くという言語活動の充実を図った授業を展開していく。

学びの充実に向けて(1)

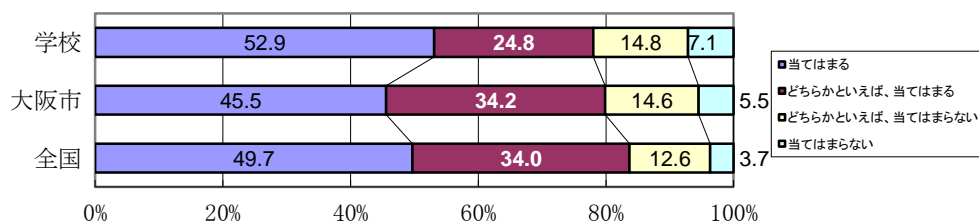
結果の概要

- 「5年生まで受けた授業では自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」の問いに当てはまると答えた児童は52.9%と全国比べても3.2ポイント高い、「話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりできていますか」の問いにも27.1%と全国と比べて4.4ポイント高い数値を示している。
- 「読書は好きですか」の問いにも当てはまると答えた児童は50.5%で全国よりも1.6ポイント高い数値を示している。

質問 番号	質問事項
----------	------

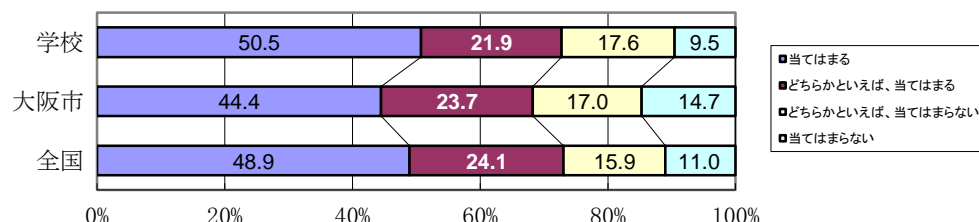
42

5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



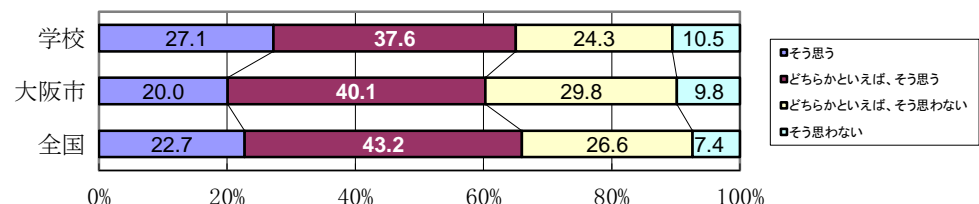
53

読書は好きですか



48

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



成果と課題

これまで、自分の考えや意見を表現する機会を学校生活全般で作ることで表現力が身についてきている。今後も継続して多彩な取組を進めることで、表現力・言語力を養っていきたい。

今後の取組

- 毎週金曜日の読書タイム、ボランティアさんによる読み聞かせ等、今後も継続して実施していき、読書習慣をさらに定着させていきたい。
- 学習の中で自分の考えを伝えあう活動を取り入れた授業づくりを積極的に進めていく。

学びの充実に向けて(2)

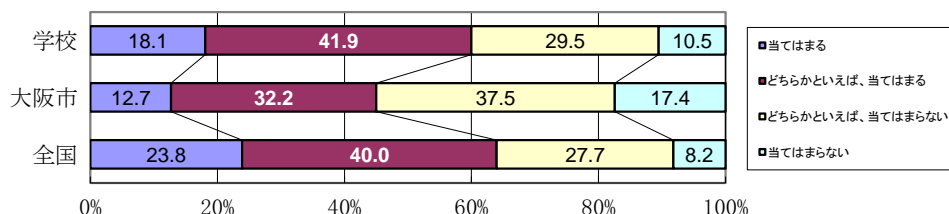
結果の概要

- 総合的な学習の時間について各学年で取組を進めているが、今後も一層、児童が積極的に課題を立てて情報を整理し、それをもとに伝え合う活動を取り入れていく必要がある。
- 各教科の指導について、それぞれの教科の特性に合わせて、言語活動を意識した授業づくりを行っているが、今後も継続していく必要がある。

質問番号	質問事項
------	------

40

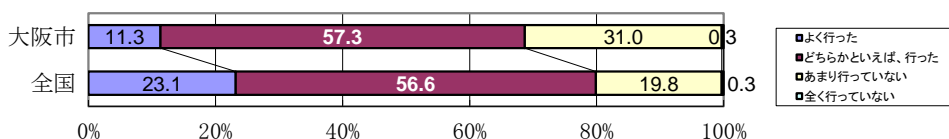
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



42【学校質問紙】

総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか

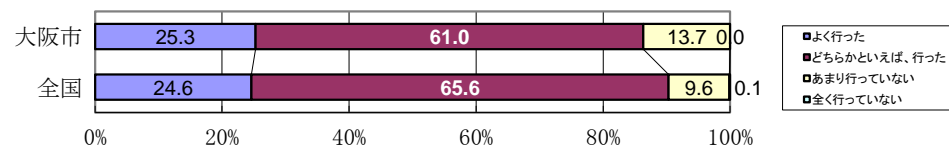
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



30【学校質問紙】

各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



41【学校質問紙】

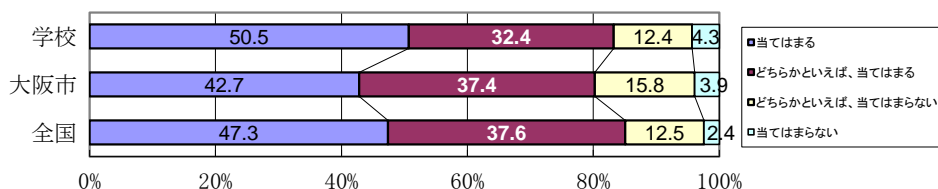
自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



43

5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



成果と課題

今後も自分で調べたことや考えを文章に書かせる活動を授業の中で積極的に取り組んいき、伝え合う楽しさや面白さを体感させていきたい。

今後の取組

自分の課題を明確に持たせることで児童の意欲をより喚起させていく授業づくりに取り組んでいく必要がある。また、調べるにあたってICTの活用もより積極的に取り入れていく必要がある。

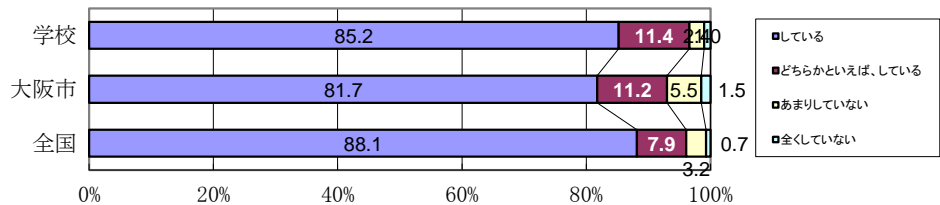
基本的生活習慣

結果の概要

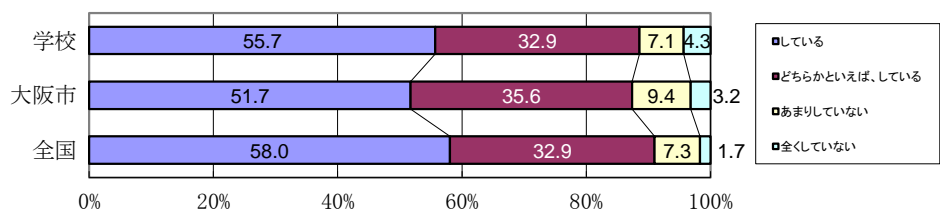
- 「朝食を毎日食べていますか」の問いに96.6%と高い数値を示している。
- 就寝時刻については全国より5.4ポイント低い、起床時刻については2.3ポイント低い。
- 携帯電話、スマートフォンの所持率は64.9%と全国に比べて11.2ポイント高い。また、使用時間についても全国と比べて若干、高い数値を示している。

質問番号	質問事項
------	------

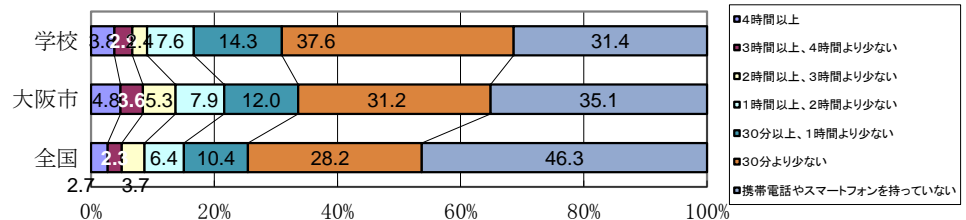
1
朝食を毎日食べていますか



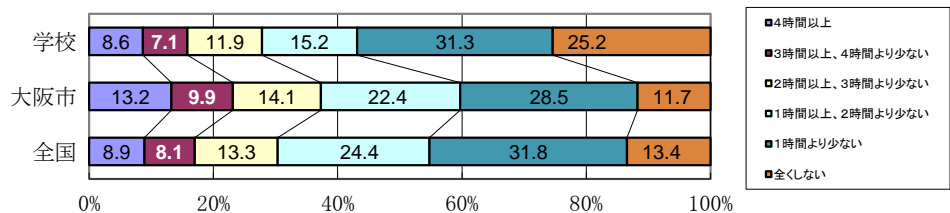
3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



13
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームは除く)



12
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム等含む)をしますか



成果と課題

- 保健だより、給食だより等で朝食の大切さを啓発してきた結果、96.6%と高い数値をしめしているが、100%を目指したい。
- 早寝、早起き、朝ごはんを推進してきているものの、就寝時刻、起床時刻については、改善が必要である。

今後の取組

- 基本的生活習慣については家庭との連携が必要である。今後も、保健だより、給食だより等で啓発していく必要がある。
- スマートフォン、携帯電話の使い方についても、学校でも指導していくとともに、家庭にあったルール作りの徹底を啓発していく。

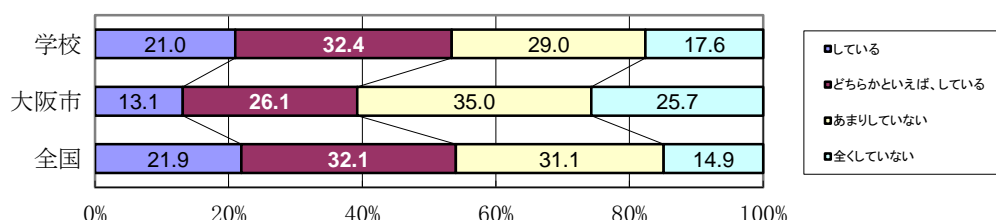
家庭学習

結果の概要

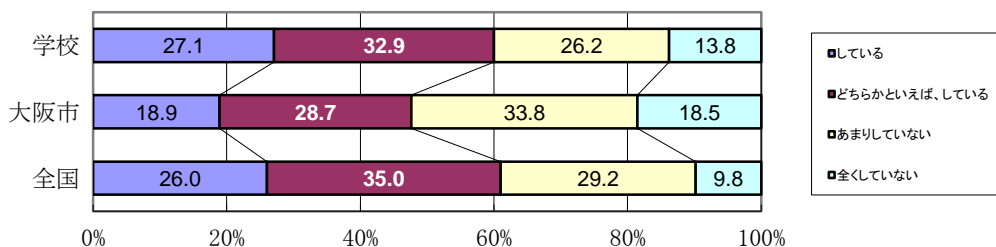
- 「家で宿題をしていますか」は98.1%と高い数値を示している。
- 「学校の授業以外に学習をしていますか」の問いに3時間以上していると答えた児童は20.5%と全国と比べても9.3ポイントも高い数値を示している。
- 「家で予習をしていますか」41.4%、「家で復習をしていますか」53.4%と全国と比べてほぼ同じ数値を示している。

質問番号	質問事項
------	------

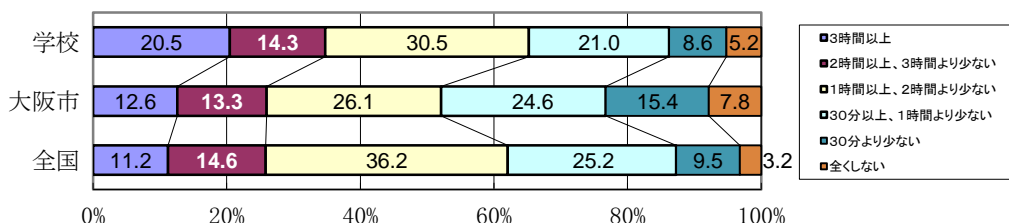
24
家で、学校の授業の復習をしていますか



21
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



14
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



成果と課題

- 学校での課題・宿題については98.1%と基本的学習習慣は身についている。
- 家庭学習の基礎となる予習・復習の習慣は身についているとはいえない。また「自分で計画を立て学習している」と答えた児童も60%と身についているとは言えない。今後、家庭学習の仕方について具体的に指導していかなければならない。

今後の取組

- 家庭学習について内容・時間等、具体的に指導していかなければならない。
- 家庭学習については、自分で計画的に取り組めるよう、課題の出し方を工夫していく。
- 家庭学習の習慣化については、保護者と懇談会等で意見交換するなど、協同して取り組んでいかなければならない。

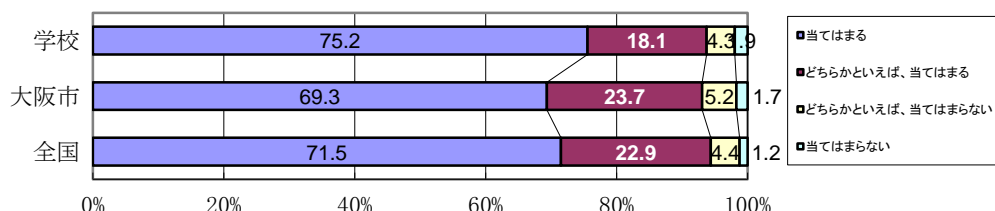
自尊感情・規範意識

結果の概要

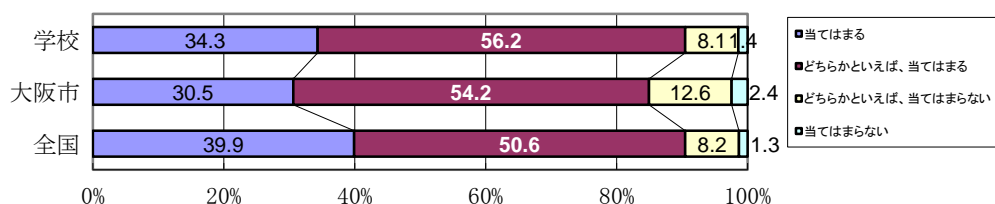
- 「先生はあなたのよいところをも認めてくれていますか」の問いに肯定的に回答している児童は80%と自尊感情を持つことができています。
- 「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか」の問いも90%以上に児童が肯定的に回答し、日々の児童の頑張りが表れている。

質問番号	質問事項
------	------

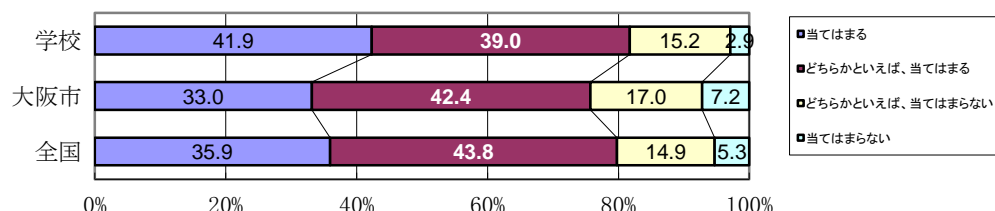
4
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



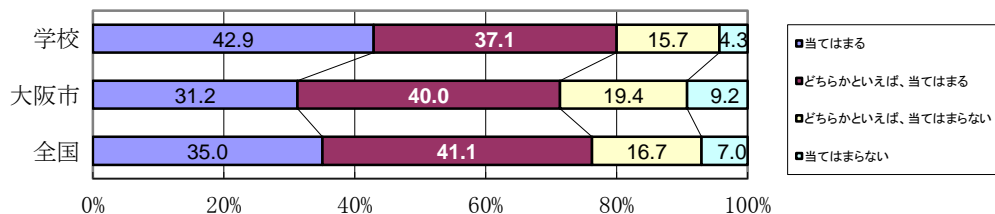
34
学校のきまりを守っていますか



28
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



6
自分には、よいところがあると思いますか



成果と課題

- 朝会や集会、生活指導だより等で取り組んできた結果、90%以上の児童が学校のきまりを守っていると回答しその成果が表れている。今後も引き続き取り組んでいかなければならない。
- 学校全体の活動を通して自尊感情・達成感とも育てることができている。

今後の取組

- 道徳教育、児童会活動、縦割り活動等、学校活動全般を通して、今後も自尊感情を育てていく。
- 児童ひとりひとりのがんばりを認め、よさを伸ばす指導を指導者が心がけ、信頼関係を深めていく。

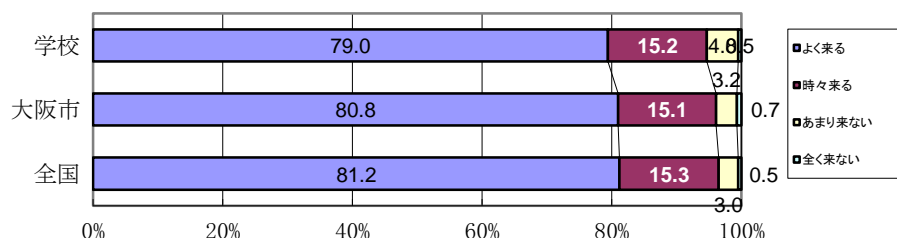
学校・家庭・地域の連携

結果の概要

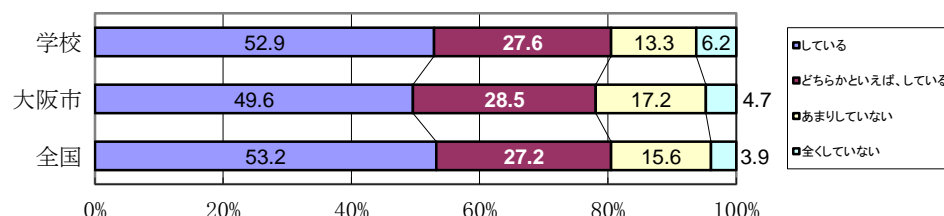
- ・「家の人は授業参観や運動会などの学校行事にきますか」の問いに肯定的回答した児童は94.2%と「家の人と学校での出来事について話をしますか」80.5%と保護者が学校教育に関心が高く学校での頑張りを見てくれていると感じている児童が多いことが分かる。
- ・「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」との問いに肯定的に回答している児童は54.3%と全国に比べて8.6ポイント低い数値を示している。

質問 番号	質問事項
----------	------

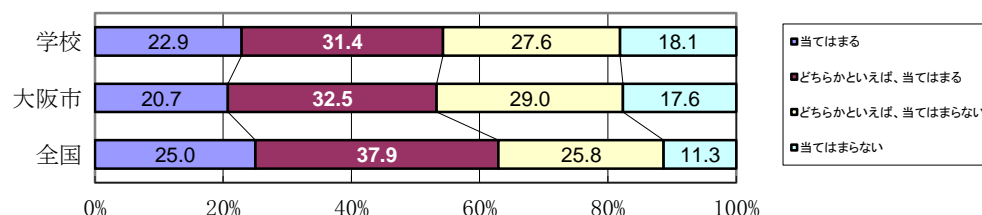
20
家の人(兄弟姉妹除く)は授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



19
家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



30
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



成果と課題

ときわフェスティバル、いのちの授業、車いす・アイマスク体験、老人施設との交流等、地域の方と連携した取り組みを進めてきているが、全国とくらべると8.6ポイントも低い数値を示している。今後も継続して取り組んいき、地域との連携を図る中で地域と一員であるという自覚を高めていく必要がある。

今後の取組

- ・ 学校教育活動の中で、今、取り組んでいることは深化・充実させ、今後、新たな取組も進めることで地域との連携を強めていきたい。
- ・ ホームページで学校だけでなく、地域の取り組みも発信するなど学校・地域・保護者の連携をさらに強化していかなければならない。

学校組織の改善

結果の概要

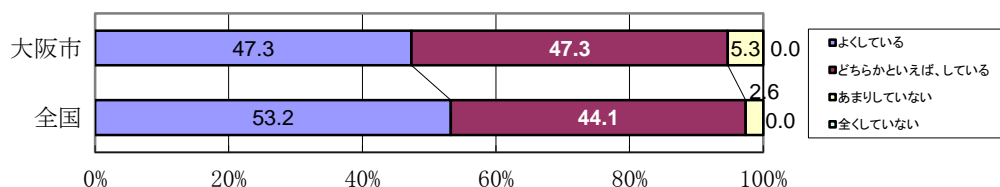
- 学校運営の状況や課題については、職員会議等で話し合い共通理解し、全体で共有できている。
- 学力向上についても20回以上の授業研究、校内研修の実施など、計画にそって研究を進めることができている。

質問 番号 質問事項

100【学校質問紙】

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

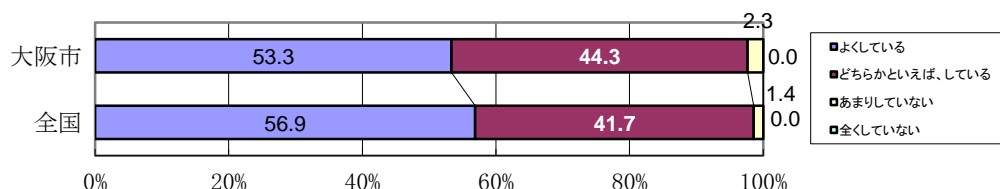
学校「よくしている」を選択



98【学校質問紙】

学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか

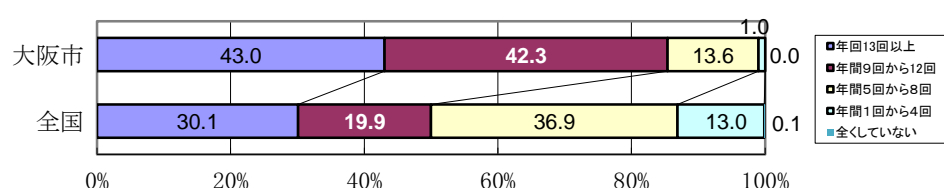
学校「よくしている」を選択



91【学校質問紙】

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

学校「年回13回以上」を選択



成果と課題

運営に関する計画にそって取り組みを進めている。また、中間評価、年度末評価を行い状況把握や課題について話し合うことができている。また、国語科に焦点をあて授業研究会や研修を実施し、外部から講師を招き授業力向上に努めている。

今後の取組

運営の計画に基づき、計画にそって今後も取り組んでいく。中間、年度末にその現状・課題を把握し、それを改善することで、学校運営を一層、充実していく。また、その取組を学校だけでなく、全市に発信するなど、より学校の活性化を図っていきたい。